

2025年4月●●日

各位

大阪信用金庫
理事長 高井 嘉津義

定例調査：第203回 景気動向調査（1～3月期）

- ☆3月期後退 先行き賃上げに期待か？・・・6月期 売上DI +4.2ポイント
- ☆回復する設備投資・・・「予定あり」13.0%（前环比+2.4ポイント）
- ☆経費増大 深刻化する人手不足・・・「一般経費増大」49.0% 「人手不足」41.3%
- ☆6割が賃上げ予定 ・・・昨年比+0.3ポイント

●3月期後退 先行き賃上げに期待か？・・・6月期 売上DI +4.2ポイント

総合では、売上DIが-3.0（前环比△5.5ポイント）、収益DIが-9.4（前环比△1.1ポイント）となり、それぞれ前环比で下落しました。売上DIは、製造業が-11.3（前环比△3.7ポイント）、卸売業が-1.2（前环比△2.6ポイント）、小売業が-6.2（前环比△13.8ポイント）、飲食業が5.0（前环比△26.1ポイント）、サービス業が7.1（前环比△6.8ポイント）、運輸業が18.3（前环比△28.2ポイント）、不動産業が-5.2（前环比△6.9ポイント）となり、建設業を除く全ての業種で前环比マイナスとなりました。

年末商戦の反動などがあるものの、業況の回復に決め手に欠ける状況が続いています。

2025年4-6月期は、売上DIが4.2ポイント、収益DIが2.1ポイント、販売価格DIが4.0ポイント、販売数量DIが2.4ポイントそれぞれ上昇すると予測しています。

賃上げによる個人消費マインドの回復や、販売価格・数量の増加による回復に期待するものの、その足取りはかなり遅く、今後も穏やかな回復基調をたどると思われま

●回復する設備投資・・・「予定あり」13.0%（前环比+2.4ポイント）

設備投資は、総合では「実施中」が18.3%（前环比+4.9ポイント）、「予定あり」が13.0%（前环比+2.4ポイント）で合計31.3%となりました。特に、「予定あり」は、前环比、卸売業は+10.4ポイント、製造業は+3.7ポイント上昇し、先行きの回復とともに設備投資意欲も回復しています。

●経費増大 深刻化する人手不足・・・「一般経費増大」49.0% 「人手不足」41.3%

経営上の問題点は、総合では「仕入単価上昇」が71.3%（前环比△1.9ポイント）、「一般経費増大」が49.0%（前环比+1.6ポイント）「売上停滞減少」が44.2%（前环比△7.0ポイント）、「人手不足」が41.3%（前环比+3.3ポイント）となり、経費増大と人手不足感が強まっています。特に「人手不足」は、サービス業が69.2%、飲食業が65.0%となり、深刻化しています。

●6割が賃上げ予定・・・昨年比+0.3ポイント

賃上げについて、6割の企業が実施する予定であると回答しました。特に従業員規模が10人超では、7割以上が実施予定と回答しています。また、ベースアップ予定額では、「5,000円以上」が38.8%、定期昇給予定額では、「5,000円以上」が37.3%と金額ベースで最も高くなっています。長期化する「仕入価格」や「一般経費」が上昇するなか、人員の流出を防ぐため苦渋の決断を行う企業が多く、深刻な人手不足の実態が透けて見えます。

調査時点：2025年2月下旬～3月上旬
対象期間：2025年1～2月期（実績）・3月（予想値） 2025年4～6月期（見通し）
対象企業：当金庫お取引先1,603社（大阪府内、尼崎市）
回答企業数：663社（回答率41.3%）（調査票郵送・Webで回答）

本調査に関するお問い合わせは下記までお願いします

だいしん総合研究所（担当：平山）
TEL：(06)6775-6590 FAX：(06)6772-1630

E-mail：souken@osaka-shinkin.co.jp URL：https://www.osaka-shinkin.co.jp

この街のホームドクター

